

# 議員団 ニュース

日本共産党平塚市議会議員団  
電話 0463-23-1111 (内線 2375)  
平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室

No. 977 2008年5月4日発行

日本共産党平塚市議会議員団  
団長 渡辺敏光  
電話・fax 31-6431  
w:toshi@agate.plala.or.jp  
松本敏子  
電話・fax 59-4607  
mail@matsumoto-toshiko.jp

日本共産党議員団の法律相談  
今回は5月10日です。  
午後1時 (要予約)

## 県内自治体が **ぞくぞくと** 小児医療費助成拡充へ

少子化が深刻化する中で、小児医療費助成制度の拡充は社会の大きな流れとなっています。健康保険法の小児医療費の自己負担はこれまで2歳児まで2割でしたが、法改正で今年4月から就学前まで拡充されました。

さらに、県の小児医療費助成制度も、通院医療では、現行3歳未満までの無料が、ことしの10月から就学前まで拡充される予定です。

乳幼児は、病気にかかりやすく、発熱・下痢での通院、また食生活や住環境など生活環境の変化により、アトピー性皮膚炎や小児喘息などの慢性疾患が増加し、長期の療養もめずらしくありません。また、発育に影響を与える、虫歯や噛み合わせの治療も増えています。このような中、病気の早期発見・早期治療及び治療の継続を保障する医療費の助成制度の意義は極めて重要になっています。

平塚市の「平塚市次世代育成支援行動計画」でも「子どもの数は、理想的には3人くらいとなっているものの、現実には2人くらいとなっており、この原因として、子育てにかかる経済的負担が大きい」ということが指摘されています。

いま、国・県の見直しに合わせ、県内の多くの自治体で小児医療費助成の拡充が進められています。

平塚市でも、早急に所得制限をなくし、子育て応援策を講じるべきではないでしょうか。



上記のメールアドレスまたは電話にて、皆さんからのご意見・ご要望をお寄せください。

	対象年齢	所得制限	県の自己負担金	備考
横浜市	就学前	有	自己負担ゼロ	
川崎市	就学前	有	自己負担ゼロ	
横須賀市	就学前	有		
平塚市	就学前	有	自己負担ゼロ	
鎌倉市	小学校3年生	※1	自己負担ゼロ	
藤沢市	就学前	無	自己負担ゼロ	
小田原市	就学前	有	自己負担ゼロ	
茅ヶ崎市	就学前	4歳未満は無	自己負担ゼロ	
逗子市	就学前	有	自己負担ゼロ	
相模原市	就学前→小学校3年生	有	自己負担ゼロ	新年度から
三浦市	就学前	※3	自己負担ゼロ	
秦野市	5歳→6歳	無	自己負担ゼロ	10月から6歳に
厚木市	7歳の誕生日 → 10歳の誕生日	無	自己負担ゼロ	7月から移行
大和市	就学前	有	自己負担ゼロ	
伊勢原市	就学前→満6歳	無	自己負担ゼロ	7月から所得制限なし
海老名市	就学前→小学6年生	無	自己負担ゼロ	
座間市	就学前→小3誕生日	有	自己負担ゼロ	
南足柄市	就学前	有	自己負担ゼロ	
綾瀬市	7歳→9歳	無	自己負担ゼロ	
葉山町	6歳児			
寒川町	就学前	無	自己負担ゼロ	
大磯町	小学1年生	有	自己負担ゼロ	
二宮町	就学前(09年度から小3まで)	無、(小1~3有)	自己負担ゼロ	
中井町	小学6年生	無	自己負担ゼロ	
大井町	4歳→就学前	有		
松田町	6歳	無	自己負担あり	
山北町	小学6年生	無		
開成町	2歳→就学前	※2	自己負担ゼロ	10月から就学前に
箱根町	小学4年生	無	自己負担ゼロ	
真鶴町	2歳→就学前(6歳)	無	自己負担ゼロ	
湯河原町	2歳→就学前(6歳)	無	自己負担ゼロ	
愛川町	小学4年生	無	自己負担ゼロ	
清川村	7歳→小学6年生	無	自己負担ゼロ	

※ 1…就学前まで無料、小学1~3年までは有。

※ 2…2歳まで無、3歳以上有。

※ 3…4歳まで無、5歳以上有。

「自己負担ゼロ」…神奈川県は通院診療1回につき200円、入院については1日100円の自己負担を10月から導入。しかし、ほとんどの自治体は自己負担分を公費負担とする方向です。



共産党議員団は、これまでもずっと医療費助成を中学卒業まで無料にすることを提案しています。

# 市民の方から提出された請願診査

## 平成19年度請願第7号

「安心して出産できる産婦人科医療体制を整備し妊産婦無料健診を拡大することを求める請願」(請願者「新日本婦人の会平塚支部」代表神保玲子氏)

### 1 2月議会において趣旨採択

請願第7号「安心して出産できる産婦人科医療体制を整備し妊産婦無料健診を拡大することを求める請願」について。

少子化の中、今、安心して子供を産み育てる夢を広げられるようにしなければいけない。妊婦がたらい回しされた奈良県の事件が象徴するように、産婦人科医療体制の整備、充実が急務。また、妊産婦無料健診は現在2回実施されているが、来年は5回ぐらいにする方向で検討すると伺っている。したがって、無制限な無料健診の拡大は財政的にも困難があるが、安心して出産できる産婦人科医の医療体制を望むということをし、この請願を趣旨採択としたい。

(討論は平塚クラブ所属議員)

(全会一致により趣旨採択)

## 平成19年度請願第9号

「後期高齢者医療制度の実施中止を求める意見書提出の請願」

(請願者「平塚地域社会保障推進協議会」代表小林久夫氏)

### 1 2月議会では継続審査

「後期高齢者医療制度の実施中止を求める意見書提出の請願」については、法律の撤回を国に求めてくださいという趣旨。

我々としては、本市議会からも議員を出しているということもあり、また、本予算の中でも後期高齢者に対するシステムについて賛同した経過も当然ある。しかし、現在いろいろな問題が発生するのではないかと懸念の中で、国の方でも一部見直しをしようという動きが出ておる。また神奈川県が全国で一番高いと言われ、実際それはどうか、明確に出ていない部分があると認識している。法律の撤回を求めるということについては賛成はできないが、この請願が出された願意は理解できるので、継続審査としたい。(討論は湘南民主クラブ所属議員)

### 3月議会では否決される

2名	12	6	5	2	1	1	1
日本共産党	平塚クラブ	湘南民主	公明党	市民派の会	無所属(高)	無所属(江)	神奈川ネット
○	●	●	●	○	●	○	●

## 平成19年度請願第1号

「沖縄での米海兵隊員による女子中学生暴行事件に抗議し、再発防止と沖縄米軍基地の整理・縮小を求める意見書の提出を求める請願」(請願者「平和の『要』をめざす会」代表鈴木康之氏)

3月議会において趣旨採択

## 金田れんげまつり

金田地域では、「花と緑のふれあい拠点(仮称)事業」が2010年3月に開所することに合わせ、その一環として、「花畑創出事業」が毎年行われています。今年も金田のあちこちで「れんげ草」が見ごろを迎えています。

雨上がりの4月27日、地域をあげて「金田れんげまつり」が開催されました。「よそには『芝桜』や『ソメイヨシノ』が咲いてみんな見に行くが、この金田には『れんげ草』があります。さあ、みんなで村おこし！」地域の皆さんでテープカットが行われました。



れんげ草が咲き乱れるの中でテープカット

地域の方々の太鼓がなり響き、手作りの灯籠が立ち並ぶ農道には、フラダンスや民謡の踊りを披露するため仮装した人たちが次々とやってきました。



この日はれんげ草畑に入ることが許可され、小学生の子供たちは、れんげ草で花の首飾りを作ったのしんでいました。

